

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 30 年度

事業所番号	2794900023		
法人名	社会福祉法人 成和会		
事業所名	グループホーム菊水苑喜志の郷		
所在地	大阪府富田林市桜井町2丁目1835番地		
自己評価作成日	平成 30年 6月 1日	評価結果市町村受理日	平成 30年 8月 14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhvu_detail_2017_022_kani=true&JikyosovoCd=2794900023-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成 30年 7月 13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ご利用者様が安心して生活して頂けるよう状態の把握に努めています。ご利用者様の残存機能を知ることにご利用者様の楽しみや役割を見出し、能力の維持に努めています。
 ・1ヶ月に1回、決まったテーマを職員2名が順番に担当を持ち内部研修を行っています。自分たちで学習し発表することで知識の向上に繋がっています。7月には全フロア合同で夏祭りを行い、ご利用者様、ご家族様にも大好評頂き、毎年やってほしいとのお声も頂き、毎年の恒例行事になりつつあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域に根ざし貢献する社会福祉法人が運営するグループホームで、小規模多機能型居宅介護事業所を併設しており、近隣には同法人の特別養護老人ホームもあります。開設後10年余りの事業所で、広く明るくゆったりとしたリビングからは、周辺の緑豊かな山や田園風景が見渡せ、テラスには季節の花がある花壇や野菜や果物が植えられた菜園があり、やすらぎを感じることができます。リビングには、七夕飾りや夏祭り用の手作りの提灯飾り、壁画、楽しい行事写真等を飾り、心が和む居心地の良い共用空間となっています。有能で経験豊かなベテラン職員は、利用者の意思を尊重し優しく接しており、家族は高い評価を与えています。音楽療法や書道、大正琴、フラダンスなど地域のボランティアとの交流もあります。食事は、毎日2〜3種類のメニューから好みのものを選択できます。利用者は、ゆったりと落ち着いた表情で過ごしています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業理念の基、管理者並びに職員は、その理念を共有して実践につなげている。毎日の朝礼時に理念を唱和している。</p>	<p>職員は、法人の理念である「和顔愛語の精神で笑顔を絶やさない、今日一日の人生という自覚のもと、喜びのタネをまき、生きがいあるホームづくりにつとめる」を毎朝唱和しています。また「家庭により近い環境を目指します」「自分らしさを大切にします」「地域に根ざしたホーム作りに努めます」をホームの理念として明示しています。定例のフロア会議や毎日の業務を通じて方針を共有し、利用者が安心して楽しく生活を続けられるよう、家族や地域の人たちと共に支えています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>利用者様が地域とつながりながら生活を続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。(初詣、地域での買物や秋祭りの鑑賞、会館のイベント利用、散歩の際の挨拶、飲食店での外食、学生交流等)</p>	<p>職員は、利用者が地域の一人として地域とのつながりを持ちながら生活できるような支援を心がけています。地元の神社への初詣に始まり、買い物、散歩の際には地域の人々と言葉を交わし、市民会館のイベントや秋祭りにも参加しています。河内音頭保存会による河内音頭の披露演奏を楽しむ機会もあり、定期的には大正琴、フラダンスなど地域のボランティアとの交流もあります。自治会総会に出席する機会も得ました。今後、当事業所の独自性をもって地域との連携を一層深め、「地域共生社会」の実現を目指して、さらには地域に貢献できるよう取り組んでいます。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域との交流は十分に果たせていない現状である。地域への働きかけや協力体制の整備が課題である。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議ではご利用状況やサービス実施、課題、評価への取り組み状況を報告し、そこで得た意見等をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議は2か月に1回開催しています。構成メンバーは利用者、家族、市高齢介護課職員、地域の代表者、法人代表、事業所職員等です。会議では事業所利用者の状況報告、行事の予定並びに実施報告、出席者の意見交換を行い、議事録も作成しています。ヒヤリハット、事故報告については現在議題に上げていませんが、今後は会議で取り上げ、報告検討する予定です。</p>	<p>運営推進会議は規定通り行われていますが、外部の出席者がやや少ない状況です。作成された議事録を利用者・家族に配布し、会議への出席を促す、あるいは地域の自治会、老人クラブ、民生委員等に働きかけて会議構成員を重層化する等、地域とのさらなる連携を念頭に考えられてはいかがでしょうか。それにより運営推進会議がさらに活性化し、サービス向上につながる活発な意見交換の場になることが期待されます。</p>
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>主に入居情報や事故報告書の提供を行う事で、連携を図っている。市役所での、グループホーム事業所交流会に参加しており、市の職員の方にも出席して頂いている。</p>	<p>管理者は、市の担当職員と報告や相談、情報交換に努め、協力関係を築いています。また、事業所が協力し自主的に運営しているグループホーム交流会に参加し、情報交換しています。計画作成担当者はケアマネジャー交流会に参加しています。市の介護相談員を定期的に受け入れています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>内部研修で身体拘束は原則禁止の意識付けを行っている。エレベーター横にロック解除の暗証番号の貼り出しをしている。外に出たいご利用様は、職員付添で外に出て頂き、付き添ってほしくないご利用様は職員が後ろから様子を伺う等の対応をしている。</p>	<p>職員は年間計画に基づき、身体拘束廃止や高齢者虐待防止について学び、意識を高めて、身体拘束のない介護を目指しています。ただ、現在やむを得ずベッドに4本柵を使用している利用者がいます。家族と職員が話し合い、家族の了解を得て、期限を設けた上で対応しています。日中は、1階入口にある扉は開錠しています。ホームから1階に通じるエレベーターには電子ロックがかけられていますが、操作盤横に電子ロックの暗証番号を表示しています。外出願望のある利用者については、見守りと付き添いで対応しています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者並びに職員は、高齢者虐待防止について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者並びに職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度を学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約または改定等の際は、ご利用者様やご家族様等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い、理解・納得を得られるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様やご家族様等が意見・要望を管理者や職員並びに外部者へ表せるよう機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者・家族の意見は家族の訪問時に、あるいは電話連絡の際に必ず、聞くようにしています。家族が意見を言いやすいように状況設定には留意し、意見箱も設置しています。聞き取った意見は職員間で共有し、検討し、サービス向上、事業所の運営に活かしています。職員は利用者担当制になっており、より個別的な対応ができます。毎月末、利用料請求書送付の際には行事案内なども同封しています。季刊発行の広報誌「喜志の郷新聞」も復刊し、利用者のスナップ写真、職員の異動、消防訓練の様子など、法人から種々の情報を発信しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員は、定例のフロア会議や日常の業務の中で業務の改善事項や課題について話し合い、提案し実行しています。有能で経験豊かなベテラン職員は、利用者の意思を尊重し優しく接しており、家族は高い評価を与えています。新任の管理者は、利用者が安心してゆったりと過ごせるよう、職員が利用者寄り添う時間を増やす工夫をしています。また、管理者と職員は定期的に面談する仕組みがあります。</p>	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを実践している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じてサービスの質を向上させていく取り組みをしている。富田林グループホーム交流会に参加している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを導入する段階で本人様が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら本人様の安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する段階で、ご家族様等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する段階で、本人様とご家族様等が今、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご本人様を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、ご家族様を支援される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様がこれまで大切にされていた馴染みの人や場所との関係を途切れないよう、支援に努めている。	職員は、利用者の知人がホームを訪ねる時や併設の施設で友人と一緒に行事に参加したい時に支援しています。また、利用者が行きつけの洋装店に買い物に行きたい時にも支援をして、利用者の思いを叶える等、利用者が大切に思う馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者様同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人様、家族様の経過をフォローし、相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人様本位に検討している。	当初のアセスメントやその後の暮らしのなかで、利用者と家族から聞き取り、利用者の表情やしぐさから汲み取った希望や思いをアセスメントシートと職員間の連絡ノートに書き込み、職員間で情報を共有化する努力をしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人様がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人様、ご家族様、必要な関係者が話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は3か月毎に、また状態の変化がある時はその都度、見直しを行っています。計画作成担当者は毎月個別介護計画のモニタリングをして評価し、カンファレンスで報告しています。3か月毎にモニタリング結果をまとめ、家族にも説明して介護計画の見直しにつなげています。ただ、介護計画の職員への徹底や援助内容のモニタリングの記録の取り方に工夫の余地があります。</p>	<p>介護計画については、介護計画の個別の援助項目の職員への徹底の仕方や、職員による日々のモニタリングの記録の取り方の改善をされてはいかがでしょうか。徹底策の一例として、利用者毎の日報用紙に介護計画の援助内容を盛り込み、実践内容を計画と関連付けて日々記録するなどの方法を検討されてはいかがでしょうか。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践、気づきや工夫を記入し、職員間で意見を出し合い、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かすようにしている。</p>	/	/
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人様や家族様の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	/	/

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域からのボランティア(大正琴等)や地域からの訪問散髪もして頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人様、家族様の希望を大切にし、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療が受けれるように支援している。	大半の利用者は、訪問診療の内科医師の週1回の診療を受けています。以前からのかかりつけ医やその他の診療科目について受診が必要な時には家族の同行が原則ですが、必要の都度職員が通院介助を行っています。協力医療機関と連携し、急変時対応についての体制も整備しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職は、日常の関わりの中から気づいた情報等を、必要に応じて小規模多機能の看護師や訪問看護師に伝え、相談し、個々の利用者様が適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院された際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係作りを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化された場合や終末期のあり方について、早い段階から本人様、家族様と話し合いを行い、事業所としてできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチーム支援に取り組んでいる。</p>	<p>ホームでの看取り実施の方針はなく、重度化した時には、特養を含め法人全体で対応するよう体制を整えています。利用者が重度化しても可能な限りホームでの生活が継続できるよう、サービス開始の早い段階から利用者や家族の意向を聞き、方針の共有を図っています。利用者の状況の変化に合わせてその都度、利用者や家族、医師と話し合い、対応していく予定です。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は常に危機意識を持ち、初期対応の判断で、主治医や管理者、ケアマネに連絡し、判断を仰ぐようにしている。また、緊急連絡網を掲示している。救急かどうかの判断に迷う時のために、救急安心サービスの連絡先も用意している。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず、利用者様が避難できる方法を全職員が身につけると共に、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年に2回、夜間想定も含めて火災・災害避難訓練を消防署の指導・承認のもとに実施しています。前回の外部評価受審以降、水の備蓄だけでなく食料品の備蓄についてもスタートし、順次計画的に増量していく予定です。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員が、利用者様が傷つかれる声かけや強い口調で話さないよう、毎月のカンファレンスで申し送りをしている。個人情報の取扱いに関しては、契約時に書面を交わしている。	職員の言葉かけや態度は明るく、利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、誇りやプライバシー、尊厳を損ねないよう配慮して、丁寧でやさしい雰囲気をもって接しています。職員は年間計画に従い、プライバシーや接遇、人権の研修を受け、意識の向上に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人様の思いや希望を表したり、自己決定できるように声かけしている。食事のメニューを伺ったり、その他、本人様からの希望を必ず聞くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の入浴日など、あらかじめ、曜日で決めてはいるが、利用者様の体調等に合わせて、業務を変更できるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問散髪を受けておられる。希望時は髪染めも受けられる。衣類等が汚れてしまったら、すぐに着替えて頂く様にして、整容に気をつけるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しんで頂ける様、一人ひとりの嗜好品、食べ易い形態を把握し、選択メニューから選んで頂いている。又、時にはベランダにてバーベキューやおやつ時にたこ焼き、クレープ作り等を行っている。	食事は同法人の特養から調理した状態で届き、利用者、職員が一堂に会して食しています。朝食は和・洋から、昼食は和定食・麺類・丼の3種類の献立から、夕食はメインの料理を2種類から選ぶことができます。月1回は利用者の前で調理することもあります。食事は利用者の状況に合わせて食べやすい形にして提供しています。食事介助を受けている利用者もあります。ベランダの菜園で収穫した野菜が食膳に上ることもあります。利用者はできる範囲で食器を下げる、片付けを手伝うなどしていますが、時には職員ともども献立から考え調理に腕をふるうこともあります。ベランダで桜を眺めながらお花見弁当、お寿司の日、誕生日会の特別食、バーベキュー大会、夏の流しそうめん、冬のおでんパーティ、鍋パーティなど、様々な企画で食事の楽しみを支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事水分チェック表を毎日きちんと記入している。また、その日の体調に応じて、食事時間を変更したりもしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔が保てるように、毎食後、一人ひとりの口腔状態の確認や本人様の力に応じた口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄リズムを把握するように努め、必要な物品の選定や見直しを行っている。また、利用者様の能力に応じたトイレ誘導及び排泄介助を行っている。	比較的重度の利用者が多い中で、排泄記録を取り、利用者一人ひとりの排泄のパターンや習慣を把握し、しぐさや表情から状況を判断し、声かけや誘導、見守りによりトイレで排泄ができています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回の入浴を基本としている。一人ひとりの体調や希望に合わせて、入浴をして頂いている。また、ゆず湯など、季節感を味わって頂く工夫もしている。皮膚疾患のある利用者様には週5回、入浴して頂いている。	平均して週2回の入浴ですが、入浴希望の強い利用者についてはその都度対応するとともに、皮膚疾患の利用者は週5回入浴しています。季節を感じてもらうため、菖蒲湯やゆず湯も実施しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	一人ひとりの生活習慣や、その 時々の状態に応じて、居室で休 んで頂いたり、安心して気持ち よく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	定期的に薬剤師からの薬の説明 がある。薬の内容不明時や処方 について相談できる体制になっ ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	本人様・家族様から生活歴を伺 い、職員間で共有するようにし ている。好きなことや楽しみを 探し、少しでも気分転換をして 頂くようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの状況や希望に応じて、戸外に出かける支援に努めている。概ねつきに1回程度ではあるが、気分転換も兼ねて行っている。	利用者の状況に配慮しつつ外出支援を行っています。利用者の高齢化、重度化も進み、簡単には外出しがたい状況もありますが、気候の良い時には積極的に外気浴、気分転換のために散歩、近隣への買い物、ファミリーレストランで女子会など、利用者の希望による外出も行っています。ホームが計画を立てて行う花見、遠足など季節的な外出行事は、全員参加の目標で取り組んでいます。100歳を越える利用者も車いすで皆と一緒に外出行事に参加しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、本人様がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族様や大切な人に自ら電話したり、手紙のやり取りができるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>2階にはテラスと菜園を設置している。利用者様はテラスでお話されたり、散歩をされている。菜園で取れた果物等を利用者様に召し上がって頂くことも多い。居間や食堂、廊下は広くゆったり居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	<p>広く明るくゆったりとしたリビングからは、周辺の緑豊かな山や田園風景が見渡せ、やすらぎを感じることができます。テラスには季節の花がある花壇や野菜や果物が植えられた菜園があります。ここでは外気浴をしたり、隣接する公園の花見や有名な夏の花火も楽しむことができます。リビングには、七夕飾りや夏祭り用の手作りの提灯飾り、壁画、手芸作品、書道作品、楽しいな行事写真等を飾っています。少人数で落ち着ける椅子やソファを設置しています。広くゆったりとした廊下の隅にもソファと椅子、テーブルを配置するなど、心が和み居心地の良い共用空間となっています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアや廊下にソファや椅子を設置し、一人になれる居住空間を大切にしている。気の合う利用者様同士で談笑されたり、居場所の工夫をしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人様や家族様と相談しながら使い慣れたものや好みのものを活かして、本人様が居心地良く過ごして頂けるような工夫をしている。	窓が大きく周辺の緑が見渡せ、広く明るい居室の入り口には飾りつけられた利用者の顔写真が貼られ、家族が持ち込んだ暖簾がかけられています。利用者は、飾り棚や机、椅子、ソファー、花、ぬいぐるみ、家族の写真、漢字ドリル、書籍、書道作品、手芸作品、帽子、外出着、テレビ等を持ち込むなど、居心地の良い個性的な居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は一人ひとりが「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送って頂けるように工夫している。		